

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】若者が将来に希望のもてる環境への創造									
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)	
1	合計特殊出生率		1.51	1.8	1.14	2.21	1.72	1.19	1.80
2	総人口に占める20~49歳の女性の割合	%	12.9	15	13.06	13.09	13.08	12.83	15.00

重点プロジェクト 1 独身の男女が出会う場の確保									
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)	
① 婚姻数(年間)	件	11	10	11	8	12	10	10	
② 高齢ヘルパー数	人	8	12	7	6	6	10	12	

主要施策									
1) 婚活パーティーの開催									
2) 各青年団体との交流会の実施と団体への支援									
3) 各種スポーツ大会の開催による交流の場の設定									
4) 大人のインターナショナルの実施による職場間交流(農業体談含む)									
5) コミュニケーションセミナーの開催									
6) 高齢ヘルパー利用に対する支援									

特記事項
<p>※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など</p> <p>○高齢ヘルパー事業補助金 ヘルパーの人数が減少しており、また人員不足によるヘルパーの負担も増加しており、このままでは今後のヘルパーも確保の可能性が低い。そのため、多くの高齢ヘルパーを確保するために他の事業での連携も必要であると考え。</p> <p>○生涯スポーツ推進事業委託料 町民の健康に対する志向の高まりをみると事業における有効性は高いと考えられる。しかし、施設の老朽化が問題視され、活動する場所が安全で安心して活用できる場の維持や確保が必要であり、今後の大きな課題と考える。</p> <p>○天塩町体育協会補助金 人口減や各団体の高齢化などによる加盟団体の減少は今後も可能性が高いが、新規会員を獲得し活発に活動している団体も少なくない。体育協会が主となりネットワークを広げスポーツ団体をサポートし、スポーツ人口の拡大や活性化をしていくために必要な補助金と考える。</p>

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do											Check			Action										
						事業概要		事業の成果・目標						実績額(見込額)						評価			今後の事業の方向性							
								事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算		H30決算	H31予算	事業達成度	事業効果	理由		
1)	農業後継者対策協議会補助金 ※H29協議会解散	農林水産課	農業支援センター	17	29	農業後継者対策の推進を目的に設立	農業後継者対策の推進を目的に補助金を支給	後継者数	人	0	0	0	2	0	1	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
2)	4Hクラブ補助金	農林水産課	農政係	20		若い農業者が中心となれば、農業経営上の課題や解決方法の検討技術向上などの活動を中心とした農業青年クラブに対する補助金	若い農業者が中心となれば、農業経営上の課題や解決方法の検討技術向上などの活動を中心とした農業青年クラブに対する補助金	会員数	人	11	13	13	11	8	0	国庫支出金											目標未達成	若い農業者の意見交換や研修などの活動により経営上の課題や問題を解決する場として機能していたが、H30年度は会員が補助条件に満たなかったため、補助対象となっていない。	会員数の減少や農業普及センターの撤廃の理由により、H31年度をもって休会した。	休会してしまっただが、今後農業青年部が4Hでの活動を引き継いでいく。
3)	生涯スポーツ推進事業委託料	教育委員会	生涯スポーツ係	H28		町民一人ひとりが生涯にわたって健康で豊かな人生を送るために年齢や目的に応じて、スポーツ活動を展開。	町民それぞれが自分の活動量、身体にあっったスポーツ活動を選択できるように幅を広げ事業展開し、「いつでも、どこでも、だれでも」楽しめるスポーツ事業を開催する。									国庫支出金									目標を概ね達成	町民の健康に対する志向の高まってきている。	当初一回開催だった事業が参加者からの声で2~3回開催に増えたり、新しい取組にも積極的に参加している。	今後は、いままで運動が苦手だった方々へのアプローチ方法を検討し新規顧客の獲得を目指す。		
																道支出金														
																地方債														
																その他														
																一般財源														
																合計														
																合計	0	0	5,013	5,255	5,267	5,869								

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do													Check			Action																		
						事業概要		事業の成果・目標						実績額（見込額）							評価																			
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算		H31予算	事業達成度	事業効果	理由														
3)	天塩町体育協会補助金	教育委員会	生涯スポーツ係		—	加盟した町スポーツ団体がスポーツを通じて、一つのコミュニティとして協働する。	体育協会事業への補助	団体数	団体	13	13	13	13	12	13	国庫支出金																		目標を達成	町体育協会の活動を補助し、天塩町のスポーツ事業の盛上げを行った。	所属団体が開催する大会や活動が円滑に進める事ができたことや、または少年団との異世代交流事業も開催した。	今後は、町内だけではなく町外にも目を向けて広域的な交流を検討し、さらなるスポーツ技術の研鑽を目指す。			
6)	酪農ヘルパー事業補助金	農林水産課	農政係	H1		酪農ヘルパーに対する賃金の補助によって、農協の酪農ヘルパーの人員確保をすることにより、酪農経営者の負担軽減を図る。	酪農ヘルパー1名につき、990,000円の補助（82,500円×12ヶ月）	ヘルパー数	人	8	7	6	6	3	6	国庫支出金																		目標を概ね達成	酪農ヘルパーの人員確保を支援し、ヘルパーの確保を促している。また、既存のヘルパーが受難時に代替として活躍している。	新規就農の確保も困難な状況下で、なかなかヘルパーを確保できていない。また、酪農経営者の負担軽減を図っている。また、既存のヘルパーが受難時に代替として活躍している。	酪農支援センターや農協と連携し、ヘルパーの確保をしていく。			
																国庫支出金																								
																国庫支出金																								
																国庫支出金																								
																国庫支出金																								
																国庫支出金																								
																国庫支出金																								

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】若者が将来に希望のもてる環境への創造									
数値目標		単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1	合計特殊出生率		1.51	1.8	1.14	2.21	1.72	1.19	1.80
2	総人口に占める20～49歳の女性の割合	%	12.9	15	13.06	13.09	13.08	12.83	15.00

重点プロジェクト 2 不妊治療・妊婦・出産にかかる経済的負担の軽減及び医療の確保									
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)	
① 出生数	人	21	20	14	26	18	13	20	

主要施策	
1)	出産支援金制度の創設
2)	妊婦健康診査費用の全額助成
3)	妊婦健康診査受診に係る交通費の助成
4)	町外医療機関に遡り移動手段の確保と支援
5)	不妊治療費助成事業の実施
6)	医療職員養成修学資金貸付制度の周知

特記事項

※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など

○不妊治療費等助成事業
 回覧やホームページで周知を行っているが、問い合わせも少なく、十分に理解されていないと思われる。周知方法の工夫が必要である。また不妊症や不育症等、デリケートな内容なので、相談しにくい。医療機関と連携を図り、町の助成事業について情報提供してもらうか相談、また相談や申請については保健師が対応し、相談場所も訪問や役場内相談で行えるようにしており、プライバシーの最大限の配慮が必要である。

○妊婦一般健康診査委託料
 妊婦健康診査の委託回数は、妊婦一人につき一般健康診査14回まで、超音波検査6回までとしている。H30の母子手帳交付数は22名と考えていたが、実績として11名と減少傾向にあり、目標に届かない状況。

施策	事業名	担当課	担当係	開始年度	終了年度	Plan・Do											Check			Action								
						事業概要		事業の成果・目標							実績額(見込額)							評価						
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算		H29決算	H30決算	H31予算	事業達成度	事業効果	理由		
1)	子育て支援金交付事業(準備金)	福祉課	福祉係	H28	-	妊娠及び出産に係る経費の一部を助成し、現役世代の経済的負担の軽減を図ることに伴い、天塩町における要する少子高齢化の防止を図るとともに、若者の定住を促進する	・出産準備金 母子健康手帳の交付を受けたもので、6ヶ月以上天塩町に住民登録・かつ定住 支給額：10万円	出生数	人	21	14	26	18	13	20	国庫支出金											交付することが出生数の増に繋がっており、効果が大きい。前年度と比べ、出生数が大幅に減少しているため。	交付金に対するニーズはあるが、現状事業成果に現れておらず、交付金のあり方も協議していく必要がある。
1)	子育て支援金交付事業(祝い金)	福祉課	福祉係	H28	-	妊娠及び出産に係る経費の一部を助成し、現役世代の経済的負担の軽減を図ることに伴い、天塩町における要する少子高齢化の防止を図るとともに、若者の定住を促進する	・出産祝い金 新生児の両親が1年以上天塩町に住民登録・かつ定住。町検等の滞納者・生活保護の受給者除く。 支給額：第1子 30万円 第2子 50万円 第3子 100万円 1/2以内で、天塩町商工会発行の商品券を交付。	出生数	人	21	14	26	18	13	20	国庫支出金											交付することが出生数の増に繋がっており、効果が大きい。前年度と比べ、出生数が大幅に減少しているため。	交付金に対するニーズはあるが、現状事業成果に現れておらず、交付金のあり方も協議していく必要がある。
2)	妊婦一般健康診査委託料	福祉課	ふれあい係	H9	-	妊婦健診は、妊娠経過を確認し、以上の早期発見と合併症の予防、必要な医療・保健指導を行うことで、妊婦が安心して安全に送ることを目的に実施しており、必要な妊婦健康診査の必要を助成することにより、受診機会を確保する。	○妊婦一般健康診査の助成：14回 ○超音波検査費用の助成：6回	健診者数	人	320	240	462	329	257	400	国庫支出金											母子手帳交付届出数が減少しており、全ての妊婦が必要健診を受診することはできていないが、目標は達成できなかった。	妊婦一人当たり、20回程度の健診回数であるが、妊婦数が減少しているため目標を達成することはできなかった。妊婦健診に加え、産後の産婦健診の助成を実施し、産後の不安やつづ等のリスクの早期発見・対応に繋がる。

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do													Check			Action														
						事業概要		事業の成果・目標						実績額(見込額)							事業達成度		事業効果	理由												
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算					H30決算	H31予算										
5)	妊婦健康診査道外受診者負担金	福祉課	ふれあい係	H21	—	妊婦健診は、妊娠経過を確認し、以上の早期発見と合併症の予防、必要な医療・保健指導を行うことで、妊娠期を安心・安全に送ることを目的に実施しており、必要な妊婦健康診査の必要を助成することにより、受診機会を確保する。	○妊婦一般健康診査の助成：14回 ○超音波検査費用の助成：6回	受診件数	人	4	0	3	0	0	5	国庫支出金													目標を未達成	対象者がいなかった	里帰りをする方がいなかったため、目標は未達成だが、道外へ里帰りを希望する妊婦がいた場合に、償還払い等で健診受診の費用負担を軽減する体制が整備されている。	2) 妊婦健診委託料に同じ				
5)	不妊治療費等助成事業	福祉課	ふれあい係	H28	—	少子化社会の中、子どもを産み育てたいと切望するが不妊に悩む夫婦に対し、不妊治療並びに不育治療に必要な費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図るとともに、治療を受けやすい環境づくりを推進する。	①一般不妊治療：医療保険が適用される不妊検査・手術、タイミング療法、薬物療法、及び医療保険が適用されない人口授精に対する助成。最大10万 ②特定不妊治療：保険が適用されない体外受精、顕微授精。最大20万 ③男性不妊治療：最大20万 ④不育治療：最大10万	申請件数	人	—	—	0	2	0	2	国庫支出金														目標を未達成	不妊治療等を行っている方からの申請がなかった。	不妊治療は非常にデリケートな部分であるため、周知不足だけでなく他人に知られたいくないというプライバシー侵害の不安があると思われる。	医療機関や保健所と連携を図り、プライバシーの配慮について最大限配慮できる申請の方法について検討が必要。			
6)	医療職員養成修学資金貸付事業	福祉課	ふれあい係	S46	—	保健師・助産師・看護師、診療放射線技師等の医療職員を養成する学校に在学する者で、将来町の職員として、医療業務に従事しようとするものに対し、就学に必要な資金を貸し付け、優秀な人材の育成・確保を目指す。	保健師・助産師・看護師、診療放射線技師等の医療職員を養成する学校に在学する者で、将来町の職員として、医療業務に従事しようとするものに対し、就学に必要な資金の貸付を行う。	貸付件数	件	0	0	1	2	4	3	国庫支出金														目標を大きく上回って達成	当初予算では対象者2名であったが、新たに看護師と保健師の申請が1名ずつあった。町内の看護師及び保健師の不足の弊弊に繋がっている。	看護師の修学資金が10万円と高額であること、将来、町の職員として医療業務に従事しようとする方が増えてきていることが背景にあると思われる。	看護師等の医療職員が充足する場合は返還や免除等の説明を丁寧に行っていく。			
	妊産婦安心出産支援事業	福祉課	ふれあい係	H29	—	分娩可能な医療機関がない市町村に在住する妊産婦が安心して出産できる環境づくりを推進することを目的とし、北海道妊産婦安心出産支援事業補助金交付要綱に基づき、町内の対象者に健診・出産にかかる交通費・宿泊費の一部補助を行う。	①交通費の助成 ・産前14回、産後1回 ・交通費補助単価：片道2,260円(各寄市立病院)、1,225円(市立稚内病院) ②出産への支援 ・1回 ・交通費補助単価：上記と同じ ・宿泊費補助単価：1泊5,000円、5泊まで ※町内医療機関の受診、里帰り時の受診は対象外	申請件数	件	0	0	0	11	15	15	国庫支出金														目標を達成	町外へ受診する際の交通費の助成を行うことにより、妊娠期にかかる費用負担を軽減することができた。	母子手帳交付時や妊婦師等と個別に説明し、対象者への周知を行い、申請できないように個別に対応している。	道の補助事業と合わせ、実施を継続していく。			

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】若者が将来に希望のもてる環境への創造
数値目標 単位 基準値 (H26) KPI (H31) 実績値 (H27) 実績値 (H28) 実績値 (H29) 実績値 (H30) 見込値 (H31)

重点プロジェクト 3 働く親を支える子育て支援の充実、親子の心と身体を支える環境整備と子育てに係る経済的支援や遊び場の確保
項目 単位 基準値 (H26) KPI (H31) 実績値 (H27) 実績値 (H28) 実績値 (H29) 実績値 (H30) 見込値 (H31)

主要施策
1) 父親の育児休暇制度を促せる職場への支援
2) 妊産婦を雇用する職場環境への支援
3) 妊娠、出産、育児期における産後ヘルパー利用に対する支援

特記事項
※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など
○子ども発達支援センター事業
○通所児童の増加及びそれに伴う指導員の増加により3町運営負担金が毎年増加。

施策 事業名 担当課名 担当係名 開始年度 終了年度
事業概要
事業の目的 事業内容
Plan・Do 事業の成果・目標 H26実績 H27実績 H28実績 H29実績 H30実績 H31目標
業績額(見込額) H26決算 H27決算 H28決算 H29決算 H30決算 H31予算
Check 事業達成度 事業効果 理由
Action 今後の事業の方向性

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do													Check			Action					
						事業概要		事業の成果・目標						実績額(見込額)							事業達成度		事業効果	理由			
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	国庫支出金	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算					H30決算	H31予算	
7)	乳幼児等医療費助成事業	福祉課	保険係	S48	—	町内に住民票がある15歳までの子どもの医療費を町が助成	保険外診療分以外の医療費自己負担分を助成	受給者数	人数	144	385	354	341	301	400	国庫支出金	1,698	2,304	1,748	1,697	1,272	2,600	目的を達成	15歳までの子どもの医療費を助成することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を整えられた。	経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整えられたため。	所得制限の撤廃や18歳までの助成拡大など助成範囲を拡大することで、さらに子育てしやすい環境を整備し、少子化を食い止める1つの要素とする。	
8)	ひとり親家庭等医療費助成事業	福祉課	保険係	S48	—	ひとり親家庭等の親。子の医療費の一部を天塩町が助成する。	保険外診療分以外が対象。子どもは医療費自己負担分、母親または父親は入院のみ助成	受給者数(親)	人数	29	36	31	28	29	30	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	目的を達成	経済的負担となることが多いひとり親家庭等の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整えられた。	所得制限の撤廃による助成範囲を拡大することで、さらに子育てしやすい環境を整備し、少子化を食い止める1つの要素とする。		
9)	紙おむつ等ごみ指定袋支給事業	福祉課	ふれあい係	28	—	厩舎で紙おむつを使用しているもの及び不要義務者の経済的負担の軽減を図る。	天塩町に住民票を有する、3歳未満、障害者、要介護者であり、在宅で生活しているものに対し、紙おむつを使用している場合、指定袋を支給。対象者に対し、年間60枚を限度として、ごみ袋(20L)を支給。	支給	件数	—	—	101	110	107	150	国庫支出金	0	0	168	216	216	192	目標を概ね達成	乳幼児に対しては、こども園や雑診を通して声かけを行い、申請が繋がっている。高齢者に関しては、新製対象者に対し個別に周知しており、必要に応じて申請に繋がっていると思われる。	おむつを使用している方からの需要が高くなり、引き続き継続していく。		
12)	放課後児童保育事業	福祉課	福祉係	H3	—	仕事などで昼間保護者のいない子どもたちを対象に、放課後に健全に充実した生活が送れるよう遊びの指導や生活の指導、安全管理などを行う。	指導員の保育のもと、遊びと生活の場を提供。年に3回、りょうしつしている児童の保護者が話し合う保護者会を開催している。	登録児童	人	34	39	35	48	45	40	国庫支出金	1,300	1,306	1,432	1,432	1,432	1,432	目標を達成	共働家庭において本事業は、大変重要なものである。	児童に対し遊びと生活の場の提供は、重要であるため。	事業を継続し、時代に合わせた取組も交えながら取り組んでいく必要がある。	
13)	地域子育て支援センター事業	福祉課	保育所	H17	—	子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導及び地域の保育需要に即応し、町内の関係機関・団体との連携を図り、育児支援を行う。	・育児不安等についての相談指導 ・子育てサークル等の育成・支援 ・子育てに関する情報を収集し、地域住民に対して広報誌等を通じて周知。	あいあいくらぶ あすかり保育	人	2090	1714	1427	1344	1946	1200	国庫支出金	866	898	420	220	629	629	目標を達成	子育てを支援することは、育児環境の整備の観点から重要である。	育児不安の解消に資するためである。	事業を継続し、時代に合わせた取組も交えながら取り組んでいく必要がある。	
14)	健やか親子21てしお応援団	福祉課	福祉係	H13	—	天塩町の全ての子どもが健やかに育まれ、心豊かに成長することを願い、社会環境の整備や各種支援活動を目的とする。	一時預かりやこども園への送迎、公共団体等の子育て活動に対する子育てボランティア、毎月第3金曜日に行う託児を行っている。	一時預かり	時間	—	19.5	3	2	12	20	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	目標を達成	少なからずニーズはあり、利用者はいる。	社会環境の整備に資するため	事業を継続し、時代に合わせた取組も交えながら取り組んでいく必要がある。	
15)	認定こども園運営費	福祉課	保育所	H28	—	保育所と幼稚園法の機能を併せ持った施設で、保護者や家族の方が就労、病気の理由により日中監護できない就学前のお子様を保護者に代わって保育士・また、3歳以上5歳以下のお子様で保育を必要としない場合は幼稚園機能を選択できる。	保育所と幼稚園法の機能を併せ持った施設で、保護者や家族の方が就労、病気の理由により日中監護できない就学前のお子様を保護者に代わって保育士・また、3歳以上5歳以下のお子様で保育を必要としない場合は幼稚園機能を選択できる。	利用者数	人	0	94	96	92	86	90	国庫支出金	1,500	761	0	0	0	0	0	目標を達成	認定こども園になり、より広いニーズへの対応ができたようになったため。	幼稚園機能を併せ持ち、就労しづらい家庭も入園させることができるようになったため。	保育料の無償化により、ニーズは更に高まることであるが、施設整備を含め、保育サービスの向上を目指した取組をしていく必要がある。

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do																Check			Action														
						事業の目的		事業内容		事業の成果・目標						実績額（見込額）						事業達成度	事業効果	理由															
						指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	合計	H26決算	H27決算					H28決算	H29決算	H30決算	H31予算										
16)	子ども・子育て支援給付事業	福祉課	福祉係	H27	—	保育所等において保育サービスを受けるためには、保護者が保育の必要性の認定を受け、その後、希望する保育所と契約する仕組みとなっている。	保育所等において保育サービスを受けるためには、保護者が保育の必要性の認定を受け、その後、希望する保育所と契約する仕組みとなっている。	認定数	件	-	96	96	92	86	100	国庫支出金	3,408	3,527	4,460	4,529	4,794	道支出金	1,704	1,764	3,326	2,201	2,397	地方債							目標を達成	認定ことも園になり、より広いニーズへの対応ができてようになった。	幼稚園機能を併せ持ち、就労しにくい家庭も入園させることができるようになった。	保育料の無償化により、ニーズは更に高まることであるが、施設整備をきめ、保育サービスの向上を目指した取組をしていく必要がある。	
																51,133	66,368	59,211	65,878	58,892	合計	0	56,245	71,659	66,997	72,608	66,083												
17)	シェアリングエコノミー天塩モデル構築プロジェクト（ランサーズ）	総務課	地方創生係	H28	H30	シェアリングエコノミーの活用で、出産を機に働くことを断念していた女性などを在宅ワークとして掘り起こし、所得向上、新たな働き方を提供し、町を離れる若者の流出を食い止める。	ICTでの仕事等の仲介を行う「ランサーズ」と提携し、出産を機に働くことを断念していた女性などの在宅ワークの掘り起こし、介護の隙間時間を活用した在宅ワークによる所得向上を目指す。	在宅ワーカー数	人	—	—	11	10	11	10	国庫支出金			6,000	3,090	2,250	0	道支出金													目標を達成	3カ年の事業により、受講者が根付き、自走する体制が整った。	地域ディレクターや講師なしで報酬を得ていることから、クラウドソーシングが認知されたと考えるため。	受講者においてクラウドソーシングが根付き、自走できる体制が整ったことから、委託事業を行わず、町単独でのサポートが必要となってくる。
13)	雄信内へき地保育所経費	福祉課	保育所	S43		保育を必要とする児童の福祉の増進を図るため、雄信内へき地保育所を設置	保育の必要性の認定を受けた児童に対し行う。	利用者数	人	12	11	9	9	12	8	国庫支出金	800																		目標を達成	利用者に対する保育サービスを行っている。	保育の必要性がある幼児に保育サービスを提供できているため。	利用者の規模に合わせ、施設の改修を行っていく必要がある。	

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】若者が将来に希望もてる環境への創造								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1	合計特殊出生率	1.51	1.8	1.14	2.21	1.72	1.19	1.80
2	総人口に占める20~49歳の女性の割合	%	12.9	13.06	13.09	13.08	12.83	15.00

重点プロジェクト 4 子どもたちの学力と体力の向上及び道立天塩高等学校の魅力発信								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① 全国学力テスト	—	—	全道クラス上位	全道平均並	全道平均並	全道平均並	全道平均並	全道クラス上位
② 全国学力テスト	—	—	全道クラス上位	全道平均並	全道平均並	全道平均並	全道平均並	全道クラス上位
③ 天塩高等学校の存続	1学年2間口	1学年2間口	1学年2間口	1学年2間口	1学年2間口	1学年2間口	1学年2間口	1学年2間口

主要施策	
1) 小中高生のまちづくりの参加奨励	
2) サポート学習の充実	
3) 小中学生に係る支援の充実	
4) 運動能力を高める指導員の育成	
5) 天塩高等学校生に係る支援の充実	
6) 下宿等の確保	
7) 天塩高等学校の魅力発信	
8) 天塩高等学校への直費の提供による学生の確保	
9) 電子図書館の開設	
10) 人型ロボット「Pepper」を活用したプログラミング教育の実施	
11) 英語教育の充実	

特記事項
※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など
○電子図書館の開設事業 町民にまだ情報が回りきっていないことや、高齢者のスマホ、タブレットの使用状況などの現状把握をした上で検討する必要がある。
○天塩町スポーツ教育推進事業 プロスポーツ選手に実際指導いただきスポーツマンシップ教育を受けることは、児童生徒にとってとても貴重な時間となっている。しかし、保護者や指導者についてもスポーツマンシップに感して学び、考える機会を設定していきたい。
○シェアリングエコノミー天塩モデル構築プロジェクト（セカクル） 30年度で3回目の開催となったところであるが、参加者の確保に苦慮しているところにある。アンケート結果によると、参加生徒からは、「英語の楽しさを学ぶことができた」「また参加したい」との声があるなど、参加した生徒にとっては好評な状況である。参加する動機付けを確保するために、学校として呼びかけしやすい日程の確保と、学校環境との連携が重要になると考えられる。
○情報通信技術広域連携推進事業（Pepper導入） 2年目となった30年度は、東京で開催される成果発表会に参加するための予選をクリアすることができず、予選落ちとなってしまった。現在、小学6年生、中学2年生がPepperの授業を行っているところであるが、結局のところ継続してPepperを使った授業を受けることができていないため、他自治体の学校との差は開く一方である。カリキュラム上、致し方ない部分もあると考えられるが、最終年度となる31年度については、学校全体でPepperを扱える環境に仕上げることによって、児童生徒の得るものが大きくなると考える。
○シェアリングエコノミー天塩モデル構築プロジェクト（筑波大との高大連携事業） 30年度においては、8月・2月の2回来訪され、中学生に対するワークショップのみならず、ライドシェアの普及に向けた研究を行うなど、地域課題が山積する当初にとって大きい取組であったと考えられる。31年度においても、8月に来訪される予定があることから、大学との協働により、地域課題解決に向けた取組が推進する必要がある。

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do										Check			Action										
						事業概要		事業の成果・目標						実績額（見込額）						評価									
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算		H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	事業達成度	事業効果	理由			
2)	小学校学習サポート推進委員会補助	教育委員会	学校教育係			長期休暇期間において、補充的な学習サポートの充実を図ることを目的とし、「学習サポート教室」を実施する。	夏休み：天塩小・啓徳小・天塩中 冬休み：天塩小・天塩中 3~5日間開催。 学校サポーター派遣事業を活用し、高校生・大学生の派遣いただいている。	実施回数	回	2	2	2	2	2	2	2	国庫支出金									目標を達成	教育環境の提供をしていく観点からは、本事業の効果はあった。	学習機会の提供を促すため、学力向上に繋がることが見込まれるため。	全国学力テストなどの数値が分かるもので、学力の向上に繋がっていく必要がある。
11)	小学校英語指導助手配置事業	教育委員会	学校教育係			国際化の発展と諸外国との信頼関係を増進し、外国語教育の充実を図り、地域レベルでの国際交流の発展と国際理解に関する学習の一環として外国語会話等を取り入れており、日本語以外の言語を勉強し、身につけていくこと。	ケン・マンゼルス氏を英語指導助手として招き、外国語会話の時間において、小学校部では英語に関する基礎・基本を学ぶ際にネイティブな英語を聞く機会を設け、聞く力を養い、学習活動につなげている。	指導者数	人	1	1	1	1	1	1	国庫支出金										目標を達成	ALTによるネイティブな英語によって、英語を聞く力を養うことができている。	ALTによるネイティブな英語を聞く機会を提供しているため	小学校において、英語教育が科目化されるなかで、ALTによる取組は、今後とも充実させていく必要がある。
11)	中学校英語指導助手手配事業	教育委員会	学校教育係			国際化の発展と諸外国との信頼関係を増進し、外国語教育の充実を図り、地域レベルでの国際交流の発展と国際理解に関する学習の一環として外国語会話等を取り入れており、日本語以外の言語を勉強し、身につけていくこと。	ケン・マンゼルス氏を英語指導助手として招き、外国語会話の時間において、ネイティブな英語を聞く機会を設け、聞く力を養い、学習活動につなげている。	指導者数	人	1	1	1	1	1	1	国庫支出金										目標を達成	ALTによるネイティブな英語によって、英語を聞く力を養うことができている。	ALTによるネイティブな英語を聞く機会を提供しているため	今後のグローバル社会を見据えるため、英語能力は必須能力となる可能性があるため。英語を学ぶ環境の充実を図る必要がある。

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do															Check			1																																			
						事業概要		事業の成果・目標					実績額（見込額）										事業達成度	事業効果	理由	今後の事業の方向性																																	
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	国庫支出金	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	目標を達成	目標を概ね達成	目標を達成	目標を達成																																	
2)	地域おこし協力隊活動経費	総務課	企画広報係	24	—	人口減少や高齢化が進む本町において、地域の活力を維持するために人材の確保が重要であり、域外の人材を積極的に誘致、定住、定着を図り、地域おこし協力隊を設置する。	・学校教育サポート ・特産品開発及びリブランディング、販路拡大 ・地域活性化支援	協力隊数	人	5	4	3	4	5	5	国庫支出金								1,161	862	840	930	965	1,532	15,220	11,339	10,767	13,101	14,072	20,682	16,381	12,201	11,607	14,031	15,037	22,214	目標を達成	外部人材の登用により事業の幅を広く、公認インストラクターやマーケティング大等学生登入学など事業の効果拡大が図られた。	2名の協力隊が協力のスキルを活かした活動を行い、定住へのサポートを行う。	引き続き個々の協力隊のスキルを活かした活動を行い、定住へのサポートを行う。														
3)	小学校教育支援事業	教育委員会	学校教育係	28		子育て支援の一環として、小学校入学時及び学年により必要となる教材等の購入費用を助が負担。保護者の金銭的負担を減らし、他の教育教材の購入に充ててもらおうとともに、地元業者から購入することで、商店の活性化につながらる。	小学1年 鍵盤ハーモニカ 小学3年 ソプラノリコーダー 小学4年 書道セット 新学期開始時に対象児童へ配布。	1年生	件	—	—	25	31	25	25	国庫支出金																									目標を概ね達成	金銭負担の軽減から、他者の教育教材の購入に繋がるとは考えにくい。	金銭負担の軽減から、他者の教育教材の購入に繋がるとは考えにくい。	給付事業には、金銭負担の軽減からニーズはあるが、目的・事業評価を図ったうえで進める必要があるため、継続有無の検証を行う必要がある。															
3)	中学校新入生生徒教育支援事業	教育委員会	学校教育係	28		子育て支援の一環として、小学校入学時及び学年により必要となる教材等の購入費用を助が負担。保護者の金銭的負担を減らし、他の教育教材の購入に充ててもらおうとともに、地元業者から購入することで、商店の活性化につながらる。	体探曲（シャージュ上下・ハーフハツ）のセットを1回を限度として支給。	件数	件	—	—	24	28	22	25	国庫支出金																										目標を概ね達成	金銭負担の軽減から、他者の教育教材の購入に繋がるとは考えにくい。	金銭負担の軽減から、他者の教育教材の購入に繋がるとは考えにくい。	給付事業には、金銭負担の軽減からニーズはあるが、目的・事業評価を図ったうえで進める必要があるため、継続有無の検証を行う必要がある。														
2)	小学校教育支援員設置経費	教育委員会	学校教育係	—	—	児童への学習面・生活面において、子の持つ力を育成しながら人間形成を図り、義務教育段階で身に付けなければならない学力・体力など学校教育の全般にわたる学習活動を通じ、支援・助言を行う。	普通学級・特別支援学級への担任教師と支援員との2人体制での学級運営に携わる。支援を必要とする児童生徒に対する支援・助言を行う。	支援員数	人	2	2	2	3	3	3	国庫支出金										473	481	474	780	567	865	3,296	3,404	3,080	4,892	3,613	6,041	3,769	3,885	3,554	5,672	4,380	6,906	目標を達成	教員のサポートとして授業に入ることで、学習活動に対する環境整備が図られている。	2人体制での学級運営を円滑に行えるため、サポートのない場合より、広く教育する機会を提供できている。	教育環境の整備は図れていることから、より学習面・生活面における指導を充実してもらうよう取組を進める。												
2)	中学校教育支援員設置事業	教育委員会	学校教育係	—	—	生徒への学習面・生活面において、子の持つ力を育成しながら人間形成を図り、義務教育段階で身に付けなければならない学力・体力など学校教育の全般にわたる学習活動を通じ、支援・助言を行う。	普通学級・特別支援学級への担任教師と支援員との2人体制での学級運営に携わる。支援を必要とする児童生徒に対する支援・助言を行う。	支援員数	人	1	1	1	1	1	1	国庫支出金																										目標を達成	教員のサポートとして授業に入ることで、学習活動に対する環境整備が図られている。	2人体制での学級運営を円滑に行えるため、サポートのない場合より、広く教育する機会を提供できている。	教育環境の整備は図れていることから、より学習面・生活面における指導を充実してもらうよう取組を進める。														
3)	天塩中学校体育文化連盟補助金	教育委員会	学校教育係			中学校体育文化連盟大会事業にかかる遠征費等の助成を行う。	中体連にかかる補助金を支出し、生徒の費用負担を減らす。	団体数	団体	5	5	5	5	5	5	国庫支出金																										目標を達成	本補助金により、遠征にかかる費用負担が軽減している。	補助金により、保護者の費用負担が軽減しているため。	本補助金により、部活動の活性化を行い、大会成績の向上につなげていく。														
9)	シェアリングエコノミー天塩モデル構築プロジェクト（オーバードライブ）	総務課	地方創生係 生涯学習係	28	—	他の電子図書館に比べ、洋書が豊富であるOverDrive電子図書館を導入し、リードアロング機能（朗読機能）を活かした、幼少期からの英語教育、またICTを活用してどこからでもアクセスすることができるため、住民サービスの拡充に繋げる。	電子図書館の導入をし、英語図書の開かかせ会等を実施することにより、幼少期から英語に触れ合うことができる機会を作る。	登録者数	人	—	—	0	100	192	250	国庫支出金																									1,174	1,475	32		1,00	1,175	1,475	32	52	0	0	2,349	2,950	64	1,152	目標を概ね達成	電子図書システムの導入により、ネイティブな発音で朗読や幼児向けに電子図書における読み聞かせの実施など保護者において高評価を得ている。	電子図書システムの導入により、ネイティブな発音で朗読や幼児向けに電子図書における読み聞かせの実施など保護者において高評価を得ている。	今後は、もっと沢山の市民の方々に活用していただくために、周知方法等の検討や情報提供をししていく必要がある。

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do													Check			Action																	
						事業の目的		事業内容		事業の成果・目標						実績額（見込額）							事業達成度	事業効果	理由														
						指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	H26決算	H27決算	H28決算					H29決算	H30決算	H31予算											
4)	天塩町スポーツ教育推進事業	教育委員会	生涯スポーツ係	H29		アスリートによるスポーツ体験イベントやスポーツマンシップ教育事業の実施、都市部と道庁地域の指導機会の修正を図るため、ICTを活用した部活動支援による子どもたちや指導者への技術支援を実施し、スポーツを通じた健康で健全な子どもたちの育成を図る。	ICT部活動支援ICTを活用し、動画を町外の指導者に提供、指導してもらう。Oスポーツマンシップチャレンジアスリート・専任講師を招き、スポーツ体験教室・トークショー（プレゼン等）をつうじて、スポーツマンシップについて学んでもらう。	体験会参加者	人	-	-	-	96	66	100		国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源														目標を概ね達成	トップアスリートから直接指導を受ける機会や、スポーツマンシップを学ぶ貴重な体験となった。参加者からのアンケート結果についても全ての参加者が満足している他、「違った種目も見てみたい」等の好奇心を高める事にもつながっている。	参加者からのアンケート結果に基づいて、効果的な指導が必要なものに、沢山の保護者にもスポーツマンシップ教育を理解し学んでいただくような検討が必要がある。	今後は、どのような目的でアスリートを選定するか、効果をどう高めるか等、内容の検討が必要なものに、沢山の保護者にもスポーツマンシップ教育を理解し学んでいただくような検討が必要がある。	
7)	シェアリングエコノミー天塩モデル構築プロジェクト（筑波大との高大連携事業）	総務課	地方創生係	H29		高校と大学の連携事業として実施する。筑波大学生を招き、動画コンテンツ作成に知見のあるYoutuberによる高校のPR動画、商店街活性化の動画作成する。	O内容 大学教授によるプレゼン 大学生によるプレゼン グループワーク フィールドワーク PR動画撮影	参加者数	人	-	-	-	8	62	30		国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源															目標を大きく上回って達成した。	中高校生との交流により、勉強に対するモチベーション向上とと考えられる。	社会工学分野で最先端を走る筑波大との交流は、身近に大学生がいない地域にあって、有益な経験であると考えられるため。	中高校生とのワークショップとともに、地域課題解決に向けた研究も実施していることから、今後も事業を通ずる中で、関係性を密にしていきたい。
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			
																国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																			

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】産業の掘り起こしと未来への創出								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1 農家戸数	戸	120	103	96	89	82	82	103
2 生乳生産量	トン	40,000	15	38,080	37,999	32,133	34,483	50,000

重点プロジェクト 1 天塩町農業支援センターの設置と農業支援システムの構築と推進								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① 農業後継者数	人	0	2	0	0	2	0	2
② 新規就農者数	人	1	1	0	1	0	0	1
③ 農業生産法人の設立	件	0	1	0	0	0	2	1

主要施策	
1) 天塩町農業支援センターの整備と業務体制の推進	
2) 天塩町農業支援システムの構築	
3) 新規就農制度の拡充と補助	
4) 組織連携による人材活用、農業機械の有効活用システムの構築	
5) 農業経営の農業生産法人化への推進	

特記事項
<p>※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など</p> <p>○天塩町農業支援センター推進事業 農家への細かな要望にこたえる実施機関として設立から2年経過し、農家の法人化や規模拡大等の支援を行うなど支援の幅は増え、農家からの相談も増えてきている。</p> <p>○新規就農者等誘致促進事業 新規就農者にとって、まだ経営が軌道に乗れていない時期の貴重な支援になっている。</p> <p>○北海道青年就農給付金事業 新規就農者にとって、まだ経営が軌道に乗れていない時期の貴重な支援になっている。</p>

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	事業概要		Plan・Do							実績額(見込額)						Check 評価			Action									
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	事業の成果・目標						実績額(見込額)						事業達成度	事業効果	理由	今後の事業の方向性								
										H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算					H31予算							
1)	天塩町農業支援センター推進事業	農林水産課	農業支援センター	27		農業に関する関係機関との連携強化や生産者の相談窓口として、農業の生産拡大や担い手確保など、本町農業の健全な発展に寄与すること。	<ul style="list-style-type: none"> 農業の生産性の向上・及び所得拡大に係る事業 担い手への支援活動の強化 各種協議会の機能強化や関係機関との連携強化 生産者への相談対応や情報提供並びに技術指導 国などへの政策提案 	後継者数	人	-	0	0	2	0	2	0	2	国庫支出金										目標を達成	農業に関する関係機関との連携強化や生産者の相談窓口としての機能が果たされている	大型法人の設立や農業施設の新規建設にもなるような支援を行うことが出来、無事現在稼働しているため	引き続き農業者の相談窓口として機能を維持		
3)	新規就農者等誘致促進事業	農林水産課	農業支援センター	21		天塩町において新たに農業を営もうとする新規就農者等を誘致促進し、担い手の確保を図るため、当該新規就農者等に対して必要な支援を行い、農業の振興と地域活性化に資すること。	経営安定支援補助金 ①営農開始時の農地・農業施設の賃借料・年間相当額以内で、貸付借開始から5年間で限度に補助 ②営農開始時の農用地・農用地・農業施設の所有に係る固定資産税・相当額以内で就農年から5年間で限度に補助。	新規就農者	人	1	0	1	0	0	1	0	1	国庫支出金									目標を達成	新規就農者としての効果が見られた	経営について、以前に比べ安定した収入が得られるようになってきており、後押しとしての効果がみられた。	引き続き新規就農者の支援を維持			
								補助利用者	人	2	1	2	1	1	1	1	地方債																
																	その他																
																	一般財源	762	6,522	605	140	150	150										
																	合計	762	6,522	3,605	140	150	150										
3)	農業次世代人材投資事業給付金(北海道青年就農給付金事業)	農林水産課	農業支援センター	24		経営リスクを負う新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間、国(道)からの補助金を支出する。	新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間、国(道)からの補助金を支出する。	給付件数	件数	3	1	2	2	1	2	0	2	国庫支出金									目標を達成	新規就農者への支援策が見られた	経営について、以前に比べ安定した収入が得られるようになってきており、後押しとしての効果がみられた。	国の制度ではあるが、引き続き新規就農者の支援を維持			
																	地方債																
																	その他																
																	一般財源																
																	合計	4,500	1,500	3,000	3,000	1,500	3,000										

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】 隠れた地域資源の活用への創発								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1	起業数	件	—	1	0	1	1	1
2								

特記事項
<p>※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など</p> <p>これまで、協力隊に対し、役場業務の一端を担ってもらい地域との交流により、定住推進を図ってきたが、H29年度から個人が持つ経験やスキルに応じた取組みを、協力隊自身で見つけてもらい、任期中に地域に根ざした柔軟な活動の支援として実施した。今後、協力隊が単に定住に向けた支援だけではなく、起業を含めたサポート体制を構築する必要がある。</p>

重点プロジェクト 1 企業を支援する体制づくりの構築								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① 起業創業セミナーの開催	回	—	1	0	0	0	0	1

主要施策
1) 起業支援セクションの創出
2) 起業創業セミナー等の開催
3) 起業を応援するための情報の発信
4) 地域おこし協力隊の活用強化

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do													Check			Action																			
						事業の目的		事業内容		事業の成果・目標							実績額(見込額)							事業達成度		事業効果	理由	今後の事業の方向性													
						指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	事業達成度	事業効果																			
4)	地域おこし協力隊活動経費(再掲)	総務課	企画広報係	24		人口減少や高齢化が進む本町において、地域の活力を維持するために人材の確保が重要であり、地域外の人材を積極的に誘致、定住、定着を図り、地域おこし協力隊を設置する。	・学校教育サポート ・特産品開発及びリブランディング、販路拡大 ・地域活性化支援	協力隊数	人	5	4	3	4	5	5	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 諸収入										1,161	862	840	930	965	1,532	目標を達成	外部人材の登用により事業の幅を広げ、公認インスタグラマーやマードック大学学生受入など他事業の効果拡大が図られた	2名の協力隊が個人事業主として事業展開していたため	引き続き個々の協力隊のスキルを活かした活動を行い、定住へのサポートを行う						
1)	地域おこし協力隊起業支援事業補助金	総務課	企画広報係	28		地域おこし協力隊の本町での起業を促進するために補助金を交付する。	○補助対象経費 ・設備費、備品費、土地、建物賃借費 ・法人登記に要する経費 ・知的財産登録に要する経費 ・マーケティングに要する経費 ・技術指導受け入れに要する経費	起業セミナー	件	—	—	1	0	1	2	国庫支出金 道支出金 地方債 その他																0	0	1,000	0	0	2,000	目標を達成	退任後の定住化の促進、並びに町内経済活性化に繋がる	H30年度退任の協力隊が個人事業主として起業しており、次年度法人格取得を目指している	H31年度において2名の協力隊が起業予定
																国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源																									
																合計	0	0	0	0	0	0	0																		

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】 隠れた地域資源の活用への創発								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1	起業数	件	—	1	0	1	1	1
2								

重点プロジェクト 2 地域事業参加によるお買い物ポイント制度の創設								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① ポイントカード発行枚数	枚	—	450	—	448	437	263	450

主要施策	
1) ハローシール行政支援ポイントの創設	

特記事項
<p>※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など</p> <p>○天塩ハローシール会ポイント事業補助金 町が主催、又は普及、・促進する事業への参加促進が図られている。行政ポイントを付与することにより、町内商工業の振興が図られている。 実績が昨年より下回った要因の一つとして、北海道胆振東部地震の影響により実施できなかった事業があった。</p>

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	事業概要		Plan・Do 事業の成果・目標							実績額（見込額）							Check 評価			Action																
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	H31 目標	財源	H26 決算	H27 決算	H28 決算	H29 決算	H30 決算	H31 予算	事業達成度	事業効果	理由	今後の事業 の方向性															
1)	天塩ハローシール会ポイント事業補助金	商工観光課	商工労働係	28		町内の地域振興の活性化に資することを目的として実施。	町が主催し、又は普及、促進する事業への参加者に対して、天塩ハローシール会が発行するハローポイントカードにポイントを付与する。	発行数	枚	—	—	448	437	263	350	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源																				目標を概ね達成	ポイント付与数が前年より下回ってはいるが、効果はあると考えられる。（北海道胆振東部地震により中止となった事業有）	町が主催、又は普及、促進する事業への参加促進が図られている。行政ポイントを付与することにより町内商工業の振興が図られている。	行政ポイントを付与することにより、町内商工業の振興が図られていることから事業の継続を促す		
																国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源																									
																国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源																									

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】隠れた地域資源の活用への創発								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1	起業数	件	1	0	1	1	1	1
2								

重点プロジェクト 3 地域住民が利用できる多目的加工施設の整備								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① 特産品の開発	品	—	10	1	5	15	6	4
② 雇用の創出	人	—	3	0	1	5	3	3
③ 転入者数	人	—	2	0	2	3	3	2

主要施策	
1) 食品加工施設等の整備	
2) 地場産食材の利用拡大	
3) 天塩町の眠れる食資源の活用	
4) 安定した雇用の創出と販路の確保	

特記事項

※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など

○天塩町ふるさと応援寄附金事業
 総務会からの推進により、返礼品にかかる地場産品の規制が入ったことから、寄附金額の減少が見込まれたところであったが、規制の範囲内で様々な返礼品を掲載したことにより、29年度を超える寄附金を集めることができた。31年度には、法改正により、返礼品の地場産品に対する基準が明確化され、今後も法規制による締め付けが強くなることが想定されるため、加工場を活かした特産品開発や、ニーズを確保したうえでの特産品開発を行い、返礼品を増やしていく必要がある。

○天塩町眠れる食資源活用プロジェクト
 3か年におけるプロジェクトの実施により、地域商社といえる会社が設立され、加工場も兼ね備えていることから、商品開発が促進されたといえる。また、プロジェクトにより東京レストランへの販路・人材が形成されたことにより、町内に招致したうえで、レストランイベントを開催することができた。交付金事業が終了したことにより、どのような形で実施していくかは未定であるが、レストランイベントについては、参加者から大変好評であり、2回目の開催を多く望まれたことから、新規予算計上のうえ、イベントを開催するか、検討する必要がある。

また、30年度より「公認インスタグラマー」として、約8万人のフォロワーがいるナラ氏を任命し、天塩町食材を使った料理写真をインスタグラムにて発信しているところにある。31年度においても同様の取組を行い、SNSを活用したPR、食材の販促を行っていく予定である。

施策	事業名	担当課	担当係	開始年度	終了年度	Plan・Do												Check			Action											
						事業の目的		事業内容		事業の成果・目標						実績値(見込値)						事業達成度	事業効果	理由	今後の事業の方向性							
						指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算												
4)	天塩町ふるさと応援寄附金事業	総務課	地方創生係	20		ふるさと応援寄附金の推進を図るとともに、町内産業の活性化を寄与することを目的として、寄附を行った個人に対し、返礼品を贈呈する。	ふるさと応援寄附金の推進を図るとともに、町内産業の活性化を寄与することを目的として、寄附を行った個人に対し、返礼品を贈呈する。	寄付金額	千円	3,527	1,962	12,193	394,627	423,539	100,000	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源										目標を大きく上回って達成	寄附金の増加により、基金積立が増加し、町内事業者にも発注が増え、地域経済にも好影響があった。	総務会の推進による返礼品の規制はあったものの、4億円を超える寄附金があり、町財政にとても好影響があったため。	基金は増加しているが、使途にあった事業に充当する必要があり、充当事業の選定をする必要がある。また、法改正により返付の返礼品が掲載できなくなる可能性もあるため、地場産品の地場開発が必要となってくる。			
3)	天塩町物産開発促進事業	商工観光課	商工労働係	昭和59年度		町の特色を生かした地場産品の振興を図るため、物産の研究・開発に要する経費の一部を助成し、地域の均衡ある発展と町民の就業機会の確保を図ること	町内に1年以上居住する団体、個人を対象に企業家または企業家される見通しがあり、地場産品の振興に寄与すると認められた研究・開発事業の一部を助成	物産開発	品	0	1	1	0	1	10	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源							500	800		目標を概ね達成	1件の助成にとどまっていたが、新たな商品開発により地場産業の振興に寄与できたと考える	本制度により新しい特産品が開発されたため	事業継続			
4)	天塩町知名度アップ事業	総務課	地方創生係	28	28	ミシュランラーメン店「ソライロ」とコラボをし、天塩町食材を使用したラーメンを提供してもらうことで、天塩町の知名度アップを図る	ソライロへ食材提供を行い、ラーメンを試作、提供してもらう。プレス向けに試食会を開催。また、開発したものを町内向けに試食会を開催。 開発品：しみりちゃんぽん	開発品	品	—	—	1	—	—	—	国庫支出金 道支出金 地方債 その他 一般財源																
																合計	0	0	3,862	0	0	0										

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do														Check			Action 今後の事業の方向性				
						事業概要		事業の成果・目標						実績額（見込額）								評価					
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		事業達成度	事業効果	理由	
3)	天塩国産食糧資源活用プロジェクト（加速化交付金事業）	総務課	地方創生係	28	28	本プロジェクトにより、女性・若者および高齢者などの知恵を活用し、眠れる食糧資源を高コンテンツ化した商品にし、一人ひとりが地域や職場で自分の力を発揮し、生きがいのある地域とする。また強い地域経済を実現する。	地域商社設立を目指しながら、眠れる食糧資源から、新たに高コンテンツの製品を開発、また地域のみならず、国全体の発展を目指し、「ソト知恵」を活かした圧倒的にコンテンツ力の高い商品を開発する。	特産品開発	品	—	—	5	—	—	—	国庫 支出金	地方創生加速化交付金	—	—	50,000	—	—	—				
																道支出金											
																地方債											
																その他											
																一般財源			2,946	—	—	—					
																合計			0	0	52,946	0	0	0			
3)	天塩国産食糧資源活用プロジェクト（推進交付金事業）	総務課	地方創生係	28	30	本プロジェクトにより、女性・若者および高齢者などの知恵を活用し、眠れる食糧資源を高コンテンツ化した商品にし、一人ひとりが地域や職場で自分の力を発揮し、生きがいのある地域とする。また強い地域経済を実現する。	地域商社設立を目指しながら、眠れる食糧資源から、新たに高コンテンツの製品を開発、また地域のみならず、国全体の発展を目指し、「ソト知恵」を活かした圧倒的にコンテンツ力の高い商品を開発する。 ・公認インスタグラマー事業 ・7/9-10 GohGanTAKAO ・2/6-7 札幌雪まつり ・2/24 Ristorante Da Teshio	特産品開発	品	—	—	5	15	6	4	国庫 支出金	地方創生推進交付金	—	—	12,500	18,000	10,400	0		目標を達成	3年の事業により、地域商社が設立されたところにあるが、町として協働できる部分は少ない。食を軸とした活性化、つまり、地域所得の向上を、目指していく。	
																道支出金											
																地方債											
																その他											
																一般財源			12,884	18,918	11,069	0					
																合計			0	0	25,384	36,918	21,469	0			
																国庫 支出金											
																道支出金											
																地方債											
																その他											
																一般財源											
																合計			0	0	0	0	0	0			
																国庫 支出金											
																道支出金											
																地方債											
																その他											
																一般財源											
																合計			0	0	0	0	0	0			

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】 隠れた地域資源の活用への創発					
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)
1 起業数	件	—	1	0	1
2					

重点プロジェクト 4 産業を活性化させるためのアドバイザー制度の創設					
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)
① アドバイザー数	人	—	5	0	12

主要施策
1) アドバイザー制度の構築

特記事項

※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など

○地方創生総合戦略推進経費
27年から5か年にわたる総合戦略を策定し、事業を推進してきたところであるが、31年度は計画の最終年度であり、5か年の反省をしながら、令和2年度からの第二期総合戦略を策定していく必要がある。そのため、31年度においては、住民ニーズ調査を実施し、その結果を踏まえ推進委員会を開催、議論を行い、諮問・答申を行う予定である。

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	事業概要	Plan・Do 事業の成果・目標							実績額(見込額)						Check 評価			Action 今後の事業の方向性					
							事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	H31 目標	財源	H26 決算	H27 決算	H28 決算	H29 決算	H30 決算		H31 予算	事業達成度	事業効果	理由	
	地方創生総合戦略推進経費	総務課	地方創生係	26		まち・ひと。しごと創生法の規定に基づき、本町における総合戦略を策定するため地方創生推進本部・推進委員会・評価委員会を設け、事業の推進を図る。 ○推進本部 地方人口ビジョン及び総合戦略の策定 各施策の推進 ○推進委員会 人口ビジョンの策定 総合戦略の策定 ○評価委員会 総合戦略に基づく施策の実施状況及び効果の検証	推進委員会 開催	回	0	10	2	3	2	5	国庫支出金											目標を概ね達成	活発的な議論が行われたことにより、道の駅が再編が推し進められた。 推進委員会は、3回目の開催に際し議案を募ったところ、特に意見が無かったことから、3回目の開催は行わなかった。	31年度は総合戦略の最終年度となるため、計画のチェックを行い、改善点を次期総合戦略に反映させるため、委員会の開催を増やし、議論する必要がある。

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】誰もが楽しめるまちへの創生								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1 住みやすさ満足度	%	—	80	—	—	—	—	80

重点プロジェクト 1 空き地、空き家の利活用と持家住宅の建設促進									
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)	
① 住宅リフォーム件数	件	80	70	68	73	87	76	未定	
② 個人住宅等建設件数	件	2	2	4	9	10	8	未定	
③ フリーランサーの移住者数	人	—	6	—	0	2	0	0	

主要施策	
1)	空き地、空き家バンク制度の創設
2)	町有地の売却促進
3)	個人住宅、民間賃貸住宅の建設促進を図る優遇制度の創設
4)	公営住宅長寿化計画の見直し
5)	住宅リフォーム助成事業の継続
6)	空き店舗等を活用した移住定住交流拠点の整備

特記事項
<p>※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など</p> <p>○天塩町空き家等適正管理対策事業 所有者を特定し、今後の空き家の活用および除却意向を調査する。</p> <p>○天塩町移住定住促進事業 移住体験施設として、件数は伸び悩んでおり、転居者が「居宅の改修によりすぐに住めない」「引越し荷物が多くまでの数日間」の移住準備期間に利用してもらうなど、利用条件を緩和しているが、今後体験ツアーや移住者への経済支援などの町全体として移住施策事業の拡大がないと、事業（移住体験施設）継続は困難になっていく。</p>

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do											Check			Action								
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	事業達成度	事業効果	理由	今後の事業の方向性		
1)	天塩町空き家等適正管理対策事業	住民課	住民振興係	28		人口と世帯数の減少、高齢化等を背景に空き家が増加しており、空き家対策の推進に必要な情報や対策に向けている。	<ul style="list-style-type: none"> 空き家候補リストを作成し、現地を調査・システムへデータ入力 空き家等の所有者特定、所有者以降調査、空き家等対策の提案 空き家等対策計画の策定支援・対策・措置支援、住民対応、報告書の作成 	空き家リスト	件	—	—	—	29	33	35	国庫支出金								目標を未達成	大きな成果といえる空き家対策には繋がっていない。	積極的な空き家対策事業を推進しているとは言えないため。	空き家対策にかかるコース調査をたうえで事業を推進していく必要がある。	
								所有者特定	件	—	—	—	25	26	28	地方債												
								計画	件	—	—	—	0	0	5	その他												
																一般財源		0	0	506	0	98	0					
								合計								合計	0	0	506	0	98	0						
2)	町有地分筆測量委託経費	総務課	管財係			町有地の分筆測量及び境界線の埋設	町有地の分筆測量及び境界線の埋設	分筆測量件数	件	1	0	2	2	1	1	国庫支出金								目標を達成	測量を行ったことにより、町有地の売却促進に繋がっているため。	町有地の活用が促進される場合には、積極的な売却を検討していく必要がある。		
														道支出金														
														地方債														
														その他														
														一般財源		648	0	2,447	5,120	2,732	0							
合計								648	0	2,447	5,120	2,732	0															
3)	持家住宅促進事業補助金（個人）	住民課	住民振興係	28	30	町民の生活環境の向上のため、自ら居住に供する持ち家住宅建設及び賃貸を目的とした住宅建設を促進し、縮小的定住化と町政発展に資すること。	新築等に係る申請者は天塩町に住民票を有し、10年以上定住を確約できる者。町内業者限度額1,500千円、町外業者限度額600千円。商品券と現金で交付。	戸数	戸	—	—	7	8	7	未定	国庫支出金								目標を達成	補助以前に比べ、新築住宅の建設が増加傾向にあるため。	時限付きの事業であるため、事業成果を踏まえ、今後のあり方を検討していく必要がある。		
														道支出金														
														地方債		過疎債	—	—	7,900	4,200	5,000	0						
														その他														
														一般財源		—	—	4,272	3,100	76	0							
合計								0	0	12,172	7,300	5,076	0															

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do													Check			Action															
						事業の目的		事業内容		事業の成果・目標							実績額(見込額)							事業達成度	事業効果	理由											
						指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標	国庫支出金	道支出金	地方債	過疎債	その他	一般財源	H26決算		H27決算				H28決算	H29決算	H30決算	H31予算							
3)	持家住宅促進事業補助金(賃貸住宅)	住民課	住民振興係	28	30	町民の生活環境の向上のため、自ら居住に供する持ち家住宅建設及び賃貸を目的とした住宅建設を促進し、総合的定住化を図り、地域活性化と町政発展に資すること。	賃貸住宅については、個人の場合は、天塩町に住民票、法人の場合は天塩町に本社、支社等を有するもの。町内業者限度額5,000千円、町外業者限度額2,000千円、商品券と現金で交付。	棟数	棟	—	—	2	2	1	未定	国庫支出金																		目標を達成	本助成事業が新築住宅建設の促進に繋がっていると考えられる。	補助以前に比べ、新築住宅の建設が増加傾向にあるため。	時限付きの事業であるため、事業成果を踏まえ、今後のあり方を検討していく必要がある。
5)	住宅リフォーム支援事業	住民課	住民振興係	27	30	町民が住宅のリフォームを町内施工業者により実施した場合において、その経費の一部を補助し、町民の居住環境の向上、町内施工業者の支援及び地域経済の活性化を図る。	町内施工業者により行われるリフォーム工事であり、当該工事に要する経費が10万円以上であるもの。同一住宅年1回限りとし、同一人につき年2棟まで。町内に住民票を有し、かつ現在居住している、世帯員に滞納がないこと。交付は天塩商工会が発酵する商品券で交付し、端数は現金で交付。	助成件数	件	0	68	73	87	76	未定	国庫支出金																		目標を達成	支援事業により、建物の延命化に繋がり、町民の居住環境の向上に繋がっている。	居住環境の整備および、町内経済の活性化に繋がっているため。	時限付きの事業であるため、事業成果を踏まえ、今後のあり方を検討していく必要がある。
6)	天塩町移住定住促進事業	総務課	企画広報係	25		移住・定住を促進し、人口の増加による町の活性化を図ることを目的とする。	移住希望者の生活体験及び移住準備の利用に供する移住定住促進住宅を設置し、移住・定住を促進する。	利用者	人	16	10	8	20	5	15	国庫支出金																		目標を未達成	町への移住体験を通じて移住へのハードルを下げる	3件の申込がキャンセルになるなど利用が伸び悩んだ	1自治体では利用は伸び悩んでいることからツアーの取組に協力が必要(H31年度振興局実施予定)
															国庫支出金																						
															国庫支出金																						
															国庫支出金																						
															国庫支出金																						
															国庫支出金																						

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】誰もが楽しめるまちへの創生								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1 住みやすさ満足度	%	—	80	—	—	—	—	80

重点プロジェクト 2 町民がひと目で地域コミュニティを把握できる情報の発信								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① 天塩かわら版 (仮称) の発信	回	—	1回/2か月	—	0	5回/年	74回/年	75回/年

主要施策								
1) 地域情報の発信 (SNS等の活用)								

特記事項

※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など

○インターネット情報化推進経費
課題：ホームページへの閲覧数や流入ルート等のアクセス解析不能のため、改善点が見えない状況。また、各担当課でページ管理をしていないため、むやみに削除ができないことから、ページが乱立し、見づらい構成になっている。
・担当者が一人であったことから、更新作業を外部へ委託、各課から作業依頼することで効率的に更新が図れた。
・LINE@をH30年3月から導入し、町内イベントについて発信を行った。H31.3.31末現在で登録者数は409名で、スマホの普及により今後情報発信分野において回覧より大きな効果が期待される。

○広報活動経費
19年度から紙面レイアウト及び紙面内の文章が変わらず、変化のない広報誌となっていた。
平成28年度において、表紙をカラー刷りにし、イメージを刷新した。(コスト増加)

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do											Check			Action											
						事業概要		事業の成果・目標						実績額(見込額)							評価			今後の事業の方向性							
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	事業達成度		事業効果	理由					
1)	インターネット情報化推進経費	総務課	企画広報係			天塩町公式ホームページへの町事業等掲載により、町内外へ情報発信する。	天塩町公式ホームページ運用にかかるサーバー保守管理、情報更新及び付随するソフトウェア経費	国庫支出金																目標を達成	災害情報等の迅速な周知及びイベント等のお知らせを町外に対する周知が行えた	更新頻度を上げ、利用者増加に繋がっている(LINE)	コストが大きいが、ホームページは利用者把握が難しい課題が多いため大幅な改修を要する				
1)	広報活動経費	総務課	企画広報係			町の施策展開にあたり、住民への理解支持を得るため、情報発信ツールとして広報てしお等を作成する。また4年ごとに町の概要を取りまとめた町勢要覧を作成。	広報てしお作成に関する経費及び町勢要覧作成経費	国庫支出金																目標を概ね達成	一定水準の周知が図られた	紙面での周知により事業参加など	スマホの普及に伴い部数の縮小等を検討を要する				
								国庫支出金																							
								道支出金																							
								地方債																							
								その他																							
								一般財源																							
								合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0														

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】誰もが楽しめるまちへの創生				
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	
1 住みやすさ満足度	%	—	80	

重点プロジェクト 3 生活支援の充実と見守り体制の構築				
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	
① 生活支援サービス相談件数	件	—	20	
② ライドシェア利用者数	人	—	65	

主要施策				
1) ICTを活用したシステムの導入				
2) 買い物支援体制の整備				
3) 生活支援サービス相談の充実				
4) 公共交通手段不足の解消				

特記事項
<p>※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など</p> <p>○シェアリングエコノミー天塩モデル構築プロジェクト（notteco） 相乗り交通事業については、30年度で2年を経過し、利用した方はリピーターとして利用され、利用者からの口コミにより、新規利用者が増えているところにある。利用者のニーズに対し、ドライブ予約の供給が追いつかないことから、より一層ドライバーの確保に向けた取組が必要となる。また、筑波大学の研究により、相乗りによるマッチングを増やすには、広域の取組を行うことが効率的であり、中継地点を増やすことが重要であるとのことである。</p>

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	事業概要		Plan・Do										Check			Action											
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	事業の成果・目標						実績額(見込額)						事業達成度	事業効果	理由	今後の事業の方向性							
										H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算					H31予算						
2)	外出支援サービス事業	福祉課	福祉係	H12		常時硬たきりて歩行が困難な者、介助なしで歩行が困難な者に対し、通院や外出の機会を増加させ、自立した生活を送ってもらうこと	移住から在宅福祉サービス及び医療機関その他のこれに準ずるものと認められる場所及び施設までを送迎する。	利用者数(延べ利用者数)	人	410	396	445	403	412	428	国庫支出金													目標を達成	利用者も多く、外出機会の増加のきっかけが提供できている。	外出機会を創出し、自立した生活を送ってもらうことは、重要であり、ニーズを踏まえた取組を続けていく必要がある。	高齢化が進んでいく中で、自立した生活を送ってもらうことは、重要であり、ニーズを踏まえた取組を続けていく必要がある。
3)	軽度生活援助委託事業	福祉課	福祉係	H12		65歳以上の者及び重度の身体障害者等が安心して、かつ、自立した生活の継続が可能となることも、要介護状態への進行を防止するため、軽易な日常生活上の援助を行う	65歳以上の者(65歳未満の者であって特に必要があると認められる者を含む。以下「高齢者」という。)及び重度の身体障害者等が安心して、かつ、自立した生活の継続が可能となることも、要介護状態への進行を防止するため、軽易な日常生活上の援助を行う。	利用者数	人	8	8	9	13	16	14	国庫支出金													目標を達成	要介護状態へ進行を防ぐための事業に資する。	今後利用者ニーズが広がっていくと予想されるため	今後高齢化が進んでいく中で、要介護状態への進行を防止することが重要であり、通常生活における軽易なサービスは続けていく必要がある。
4)	シェアリングエコノミー天塩モデル構築プロジェクト（notteco）	総務課	地方創生係	28		地方の抱える問題を解決するため、既存の考えではなく、新たな流れとして急成長しているシェアリングエコノミーの活用。天塩～稚内間をライドシェアにより住民主体とした交通網の整備を行う。	nottecoと連携した、生活圏となっている稚内までの公共交通機関が整っていないため、相乗りの輸送を行うことで問題解決を目指す。 H29 ヤナセGMのキャブティバをレンタル 相乗りツアーを企画。 H30 筑波大学との共同でライドシェアにかかわる研究を実施	利用者数	人	—	—	7	173	150	200	国庫支出金	地方創生推進交付金						321	64					目標を概ね達成	事業開始2年目となり、相乗り利用者が増え、前年度に減少していたが、ツアーを実施していない部分がある。車の規制緩和を要請し、上昇傾向にあると考えるため。	乗車のニーズは増加傾向にあるが、ドライバーの増加・登録が伸びず、ニーズに答えることができていない部分がある。車の規制緩和を要請し、上昇傾向にあると考えるため。	乗車のニーズは増加傾向にあるが、ドライバーの増加・登録が伸びず、ニーズに答えることができていない部分がある。車の規制緩和を要請し、上昇傾向にあると考えるため。

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】誰もが楽しめるまちへの創生					
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)
1 住みやすさ満足度	%	—	80	—	—

重点プロジェクト 4 地域カフェ設置による住民の交流の場の創設					
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)
① 地域カフェ設置数	件	—	1	—	0

主要施策	
1)	既存施設を利用した自由空間（カフェ）の整備
2)	Wi-Fi（公衆無線LAN）の整備

特記事項
※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	事業概要		Plan・Do							実績額(見込額)					Check			Action									
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	事業の成果・目標							実績額(見込額)					事業達成度	事業効果	理由	今後の事業の方向性							
										H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算					H31予算						
2)	公衆無線LAN等情報伝達基盤整備事業	総務課	総務係	29		防災の観点から防災拠点(避難場所・官公署)での無線LAN環境を整備するとともに、福祉、観光等の分野にも活用しICTを活かしたまちづくりの促進を図る。また、無線LAN環境の整備することによって町内のネットワークや携帯の電波の届かない不感地域を解消する。	町内全域の無線LAN環境の整備	Wi-Fi設置	施設	2	2	3	4	4	5	国庫支出金								0	目標を未達成	新規のWiFi整備はできず、事業を進めることができていない。	事業を進めることができなかったため。	当初計画していた町内全域の無線LAN整備は先送りとなったため、別の切り口で事業を推進していくか検討していく必要がある。				
																国庫支出金																
																国庫支出金																

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】情報と観光の創起									
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)	
1 道の駅来場者数	人	158,000	170,000	129,879	132,756	134,273	123,632	170,000	
2 てしお温泉夕映利用者数	人	70,000	75,000	61,314	56,626	51,290	52,211	75,000	

特記事項
※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など

重点プロジェクト 1 「道の駅てしお」を再編し特産品や観光の発信場所を整備									
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)	
① 道の駅来場者数	人	158,000	170,000	129,879	132,756	134,273	123,632	170,000	

主要施策									
1) 地元特産品の販売体系構築のため「道の駅てしお」内部施設の整備									
2) モニターやインフォメーションによる観光PRで街中への誘導									
3) 繁忙期の飲食スペースの取設場所増設の検討									
4) 異業種間交流及び情報交換の場の拡充									
5) コンシェルジュの増員									
6) ホームページのリニューアル									

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do											Check			Action							
						事業概要		事業の成果・目標						実績額(見込額)							事業達成度	事業効果	理由				
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算					
2)	総合案内業務委託事業	商工課	施設管理係	15		道の駅来場者に対する観光等情報を提供することを目的とする	町内の観光、宿泊情報等のほか、開発局の情報端末を設置するだけでなく、総合案内スタッフを配置して来訪者の問い合わせ等に対応する。 5月から10月までの間に総合案内スタッフ配置したほか、通年で地域おこし協力隊を配置し、来訪者への対応を行った	来場者数	万人	16	13	13	13	12	15	国庫支出金 道支出金								目標を概ね達成	目標は未達成であったが、案内スタッフを配置し地域おこし協力隊が通年増員したことで、来訪者に対するサービス向上に繋がった。	来訪者の苦情の対応や、町内のPR、宿泊施設の紹介など、幅広く対応し利用者のサービス向上に努めたため	開発局の情報端末は撤去されるが、引き続き総合案内スタッフを配置して来訪者への対応が必要がある。
6)	観光コンシェルジュ、観光人材構成事業	商工課	観光係	28	29	道の駅など来訪者に対しニーズに応じた町の観光情報を提供することに加え、近隣地域の観光情報を認識し、伝えられるスキルを習得する	講師を招いて、講座・実地研修を実施し、観光コンシェルジュの育成を図る。	研修回数	回	-	-	9	1	-	-	国庫支出金 道支出金							目標を未達成	事業実施なし	事業実施なし	事業実施なし	
															国庫支出金 道支出金												
															地方債												
															その他			500									
															一般財源	-	-	600	199	-	-						
															合計	0	0	1,100	199	0	0						
															国庫支出金												
															道支出金												
															地方債												
															その他												
															一般財源												
															合計	0	0	0	0	0	0	0					

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

【基本目標】情報と観光の創起								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1 道の駅来場者数	人	158,000	170,000	129,879	132,756	134,273	123,632	170,000
2 てしお温泉夕映利用者数	人	70,000	75,000	61,314	56,626	51,290	52,211	75,000

重点プロジェクト 1 情報提供の強化								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① Wi-Fi設置数	箇所	2	7	2	3	4	4	7

主要施策	
1) 町内看板のリニューアル	
2) ハンフレットのリニューアル	
3) ハンフレットの教材としての活用	
4) ホームページのリニューアル	
5) SNSの活用	
6) 看板やハンフレット等の外国語表示	
7) 商店街の環境整備	

特記事項

※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など

○インターネット情報化推進経費
 課題：ホームページへの閲覧数や流入ルート等のアクセス解析不能のため、改善点が見えない状況。また、各担当課でページ管理をしていないため、むやみに削除ができないことから、ページが乱立し、見づらい構成になっている。
 ・担当者が一人であったことから、更新作業を外部へ委託、各課から作業依頼することで効率的に更新が図れた。
 ・LINE@をH30年3月から導入し、町内イベントについて発信を行った。H31.3.31末現在で登録者数は409名で、スマホの普及により今後情報発信分野において回覧より大きな効果が期待される。

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do										Check 評価			Action										
						事業概要		事業の成果・目標						実績額(見込額)						事業達成度	事業効果	理由	今後の事業の方向性						
						事業の目的	事業内容	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算					H29決算	H30決算	H31予算			
2)	マンガ版観光ハンフレットの策定	商工観光課	観光係	27		事業の目的	「てしお板面PRESENTS天塩ツアー」(日本語・英語版)の発行(本町のマスコットキャラクター「てしお板面」が町内の観光資源、食などを漫画でストーリー化して紹介)	発行部数	冊	-	6,000	5,000	3,500	2,500	2,500	国庫支出金								目標を達成	子どもから大人まで楽しみな情報収集に役立ち、かつ外国語版については、外国人への紹介に対し、効果があった	てしお板面を主人公にマンガで町の利便性を紹介し、子どもから大人まで楽しみな情報収集に役立てる。外国語版の発行による外国人への紹介にも効果あり	インバウンド対応に向けて、中国語など、他言語版発行の検討を行う。		
						事業内容								地方債															
						指標名																							
						単位																							
						実績																							
4)	インターネット情報化推進経費(再掲)	総務課	企画広報係			事業の目的	天塩町公式ホームページへの町事業等掲載により、町内外へ情報発信する。	発行部数							国庫支出金								目標を達成	災害情報等の迅速な周知及びイベント等のお知らせを町外に対する周知が行えた	更新頻度を上げ、利用者増加に繋がっている(LINE)	コストが大きい。ホームページは利用者把握ができないため、課題が多いため、大幅な改修を要する			
						事業内容	天塩町公式ホームページ運用にかかるサーバー保守管理、情報更新及び付随するソフトウェア経費																						
						指標名																							
						単位																							
						実績																							
7)	天塩市街フラッグ設置事業補助金	商工観光課	商工労働係	28	28	事業の目的	商店街をはじめとする町内に賑わいと活気を呼び戻すことを目的とするほか、町内への新たな誘客につなげることを目的とする	設置箇所数	箇所	-	-	60	53	53	53	国庫支出金							目標を達成	町の賑わいを演出することから、事業を継続した	国道・道(新米通)各所にフラッグを設置することにより町の賑わいを演出することができた	歓迎フラッグを設置することで、通過する旅行者にも天塩町の印象を残すことができることから、事業を継続する。			
						事業内容	街路灯にてしお板面をデザインした歓迎フラッグを設置。補助金は、フラッグ製作およびフラッグ用具、取り付け費用を助成。29年度からは商工会単独事業として実施																						
						指標名																							
						単位																							
						実績																							

平成30年度 天塩町総合戦略事業評価シート

情報と観光の創起								
数値目標	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
1 道の駅来場者数	人	158,000	170,000	129,879	132,756	134,273	123,632	170,000
2 てしお温泉夕映利用者数	人	70,000	75,000	61,314	56,626	51,290	52,211	75,000

重点プロジェクト 1 「歴史」「自然」「天塩川」に関する観光コンテンツの開発と整備								
項目	単位	基準値 (H26)	KPI (H31)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	見込値 (H31)
① 天塩川歴史資料館来場者数	人	1,154	1,270	1,603	1,025	1,049	1,268	1,270
② 川口遺跡風景林来場者数	人	317	350	289	244	310	322	350

主要施策	
1) 天塩川歴史資料館の整備と利活用の検討	
2) 長門船模型の製作と観光利用	
3) てしお観察、体験ツアーの実施	
4) 町内フットパスの整備	
5) てしお温泉再発見交流事業の実施	
6) 天塩町民保養センター利用者の拡大	
7) 縄文体験プロジェクトの検討	
8) 新たな観光資源の開発と観光モデルのルート整備	
9) 広域連携によるインバウンドツアーの計画	
10) 大学及び広域連携による教育旅行誘致のためのスキーム構築と整備	
11) てしお温泉に併設する宿泊施設及びコミュニティ施設の整備	

特記事項
<p>※事業の問題点や評価等の妥当性、有効性、効率性など</p> <p>○天塩川歴史資料館管理経費 天塩町の歴史をもっと町外に発信していくための基盤整備や、沢山の人が施設を安全に安心して使用できるような環境整備をする必要がある。</p> <p>○シェアリングエコノミー等拠点整備事業 宿泊については、施設も新しくなり利用者増加がみられる。 多目的交流室やコワーキング室については、町条例の利用料金の一部減免規定や、指定管理者の協力を得て、利用しやすい料金設定にしている。</p>

施策	事業名	担当課名	担当係名	開始年度	終了年度	Plan・Do											Check			Action															
						事業の目的		事業内容		事業の成果・目標						実績額(見込額)					事業達成度		事業効果	理由											
						指標名	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31目標	財源	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算		H31予算	事業達成度			事業効果										
1)	天塩川歴史資料館管理経費	教育委員会	生涯学習係	H元年		天塩川とともに歩んだ町の歴史を想起し、先人が築いた遺産、伝統、文化を継承する場とするため。	町民から提供頂いた数々の品々を展示し、町民と共に築きあげ親しみのある資料館を運営管理する。	児童生徒の利用者数	人	151	68	134	148	133	150	国庫支出金											目標を達成	天塩町の歴史を学ぶ場としての周知はもたらさん、またてしお塾の開催など天塩町の文化や歴史を学ぶ機会を設定した。	小学3・4年生はカリキュラム内の地域学の時間を活用し資料館を見学しに来たことで、町史を学ぶ機会を学ばると認知したと考	今後は、学校授業時間だけにまわらず、地域学を学べる機会の提供とグローバルに対応できる環境整備が必要である。					
11)	シェアリングエコノミー拠点等整備事業	商工観光課	施設管理係	28	29	コワーキングスペース、フリーランサーの移住を促す宿泊研修施設、テレカン設備を備えた「天塩町シェアリングコミュニティ」構築プロジェクト」の拠点施設とする。	クラウドワークセミナーや遠隔講演等の事業を実施し、町内ワーカーの掘り起こし、所得向上、移住促進を図る。また、電子図書館や、Pepperによるプログラミング教育の拠点とする。	在宅ワーカー	人	-	-	11	10	11	15	国庫支出金	地方創生拠点等交付金	-	-	-	179,440	-	-					目標を達成	仕事ができる場所として活用され、また、在宅ワーカークの拠点として機能したため	ネット環境や団体として集まれる場として活用され、クラウドワークの拠点として機能したため	これからは町内外の在宅ワーカーの拠点として備品等を整備し、町内在宅ワーカーの新規雇を目指す。				
																国庫支出金																			
																地方債																			
																その他																			
																一般財源																			
																合計	2,117	2,504	2,578	3,267	2,942	2,860													
																合計	0	0	0	0	0	0													